

事務事業チェックシート

事務事業No 440 事業名 魅力ある商店街づくり事業

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	2	商工業の振興
基本方針	2	地域商業の振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		商工業振興費	
	大事業		商工業振興事業	
事項		魅力ある商店街づくり事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H8	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	商工振興課	小嶋 義之(435-1233)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	商業の衰退が顕著になる中、商店街内の店舗を個性のある魅力的な店舗とすることで、人が行きかう賑わいのある商店街とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・商業団体等が実施する集客・販売促進を目的とするイベント事業（以下「集客・販促支援事業」という。）に対し補助する。 補助率1/2 限度額13万円、2団体が合同で実施する場合は50万円 ・商業団体や個店が商店街活性化のために新たに実施する事業（以下「商店街魅力UP事業」という。）に対し補助する。 補助率1/2 限度額50万円、個店が実施する場合は10万円 ・商業団体、社会福祉法人等が商店街の地域コミュニティ機能を強化し、商店街の活性化を図る事業（以下「コミュニティ機能強化支援事業」という。）に対し補助する。 補助率1/3（県1/3、市1/3） 限度額150万円 				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業、商店街魅力UP事業に対し補助する。 ・商業団体及び個人が商店街の空き店舗を借り上げ新規開業を促進する事業等に対し補助する。 ・コミュニティ機能強化支援事業に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業、商店街魅力UP事業に対し補助する。 ・コミュニティ機能強化支援事業に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業、商店街魅力UP事業に対し補助する。 ・コミュニティ機能強化支援事業に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業、商店街魅力UP事業に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街魅力UP事業に対し補助する。

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費等	事業費	7,901	7,454	7,670	5,714	6,870		3,870		3,870	
	伸び率 (%)	-	-	-2.9%		-10.4%		-43.7%		0.0%	
	人件費										
	常勤職員	5,453	6,685	5,389	4,987	4,987		4,987		4,987	
	非常勤職員	161	280	298	141	141		141		141	
	小計	5,614	6,965	5,687	5,128	5,128		5,128		5,128	
千円	国庫支出金										
	県支出金	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500					
	市債										
	その他										
	一般財源（税等）	6,401	5,954	6,170	4,214	4,214		3,870		3,870	
所要人数	常勤職員	0.73	0.88	0.73	0.67	0.67		0.67		0.67	
	非常勤職員	0.08	0.19	0.19	0.09	0.09		0.09		0.09	
主な予算内訳		商業活性化支援事業補助金 3,870千円、コミュニティ機能強化支援事業費補助金 3,000千円									

3 目標及び実績

	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度
活動指標	集客・販売促進を目的とするイベント事業への助成件数（累計）				18	15	11	7	0
					10	10			
	単位 件 全体目標値 51 全体目標達成度 39.2%				年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	年間商品販売額（商業統計）				9,700	9,100	9,100	9,100	9,100
					8,990				
	単位 億円 全体目標値 9,100 全体目標達成度				92.7%				
	空き店舗率（空き店舗数/総店舗数）				20	20	20	20	20
					30.3	21.4			
	単位 % 全体目標値 20 全体目標達成度				年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業に対する補助は、一時的な効果はあるものの、継続的な販売の回復には至っていない。 ・商店街魅力UP事業に対する補助は、商店街で専門家を招へいた勉強会を開催する等の新たな動きにつながっており、今後も継続して支援していくことにより商店街の魅力向上を図ることができると考えられる。
「見直し」 「改善」案	<ul style="list-style-type: none"> ・集客・販促支援事業に対する補助を縮小させていき、平成29年度から廃止とする。 ・商店街魅力UP事業に対する補助は、商店街の個店の魅力を高めていくためにも継続する。 ・コミュニティ機能強化支援事業への補助は、和歌山県との協調事業であるため、和歌山県と今後の方針について検討する。